



笠岡市の広大な干拓地

■ **鬼入道グリーンツーリズム**  
(鳥取県鳥取市)  
戸数17戸人口60人の小集落が、無理なく取り組んで10年経過した「体験型農家民泊」

■ **歴史のまちのみちびへり**  
(愛知県犬山市)  
平成23年10月19日～21日  
**経済建設委員会**

城下町で拡幅予定の都市計画決定された道路を、拡幅しないで『歩いて暮らせるまち歩いて巡るまち』に方向性を決定しました。電柱類地中化と道路美化化に住民が立ち上がり、空が広くなって、犬山城がまちのあちこちから見えるようになりまし。風格のあるまち、賑い創出になったことは、本市の道路決定にも大変参考になりました。



犬山市のまちなみ

■ **農業の総合産業化**  
(岡山県笠岡市)  
畜産業が盛んで、その副産物の糞尿を資源化しました。また、干拓地の広大な農耕地で栽培した農産物を、道の駅で好評販売しています。大手食品企業への販路もあり、民間活力を活用しています。

■ **観光タクシー運行補助**  
(岡山県高梁市)  
広範囲に点在している観光施設を結ぶ公共交通機関に恵まれておらず、貸切観光タクシーを運行し観光客の利便性の向上を図り、観光客の増加につなげたことを参考にしていきたい。

■ **議会運営委員会**  
**議会基本条例推進委員会**  
平成24年1月23日～24日

議会運営委員会並びに議会基本条例推進委員会は、本年1月23日、24日の2日間、三重県尾鷲市議会、四日市市議会へ研修視察を行いました。現在、塩尻市では予算を3つの常任委員会へ分割して審議を行っていますが、本来予算は歳入と歳出を一緒に審査することが望ましいとされています。そこで、今回行政への監視機能を高める点からも、予算決算を一体として審査する委員会の設置についての先進地の事例を把握し、研究を深めることを目的として視察研修を実施しました。



三重県尾鷲市

具体的には、両市議会とも



三重県四日市市

各委員会へ予算決算を分割して審査することは望ましくないと認識のもと、予算決算に関して一つの委員会で審査を行う議会運営が進められていました。特に、尾鷲市議会では、予算決算常任委員会を設置後、全議員が出席する委員会では、他の常任委員会で審議する案件が少なくなつたという声がある一方で、議員より多様な意見が出ると言つた傾向もあるということが尾鷲市議員との意見交換を通じて実態を把握することが出来ました。

今後、今回の研修を生かしながら、議会のあり方について研究を進め、市民のみならず、市民にとってよりわかりやすい議会を目指してまいります。